令和５年度（2023 年度）学術変革領域研究(A) アシンメトリが彩る量子物質の可視化・設計・創出

トピカルミーティング
「量子ビームでプローブする新しい磁性状態の可視化：手法開発と物性 II」

2026 年 11 月 29 日（日）
つくば国際会議場 中ホール 200

午前の部

量子ビームによるアシンメトリ量子物性の探究と計測技術の新展開

9:30 – 10:00　受付

座長　網塚　浩
10:00 – 10:10　鬼丸 孝博　はじめに
10:10 – 10:30　岩佐 和晃　放射光 X 線と中性子の相補利用による構造対称性と磁性の研究
10:30 – 10:50　網塚　浩　量子ビームで探る強相関ウラン系化合物の特異な磁性
10:50 – 11:10　今 布咲子　局所対称性の破れとウラン化合物の 5f 電子状態
11:10 – 11:30　松平 和之　イリジウム酸化物 $Ca_5Ir_3O_{12}$ における電気トロイダル秩序と
　　花手 洋樹　電流誘起の異方的格子歪
11:30 – 11:50　松村　武　KEK-PF での共鳴 X 線散乱による多極子秩序の観測
11:50 – 12:10　山崎 裕一　共鳴 X 線・軟 X 線散乱計測手法の開発と磁性体研究への展開

12:10 – 13:30　（昼食・休憩）

午後の部

量子ビームによる物性研究の歴史と展望
― 中尾裕則先生を偲んで ―

13:00 – 13:30　受付

座長　菖蒲 敬久
13:30 – 13:35　村上 洋一　はじめに
13:35 – 13:50　菖蒲 敬久　中尾裕則先生の研究の軌跡と学術的貢献
13:50 – 14:05　野田 幸男　結晶構造・磁気構造研究の発展と量子ビーム科学
14:05 – 14:20　藤井 保彦　量子ビーム物性研究の歩みと次世代への継承
14:20 – 14:35　TBA　TBA
14:35 – 14:50　TBA　TBA
14:50 – 15:05　TBA　TBA
15:05 – 15:20　村上 洋一　総括：中尾裕則先生の遺したものと今後への期待

15:20 – 15:30　休憩

15:30 – 16:50　情報交換会・集合写真撮影
16:50　閉会